

第 6 回 総合分析実験センターセミナー

ケミルミイメージングシステム Fusion 説明会

エムエス機器株式会社

日 時：11月10日（月） 16:00-17:00

場 所：臨床研究棟 2 階 2260 室 セミナー室

デモ測定：11月11日（火） 基礎研究棟 3 階 2327 室 LAS-3000 隣に設置予定

ケミルミの撮影装置に求められることは、

- 1, 微弱なシグナルであつてもとらえられること
- 2, 取り込んだ画像で、定量的にバンドの有無や増減が論じられること
- 3, 目的とする定量や画像の提示を行うことのできる機能があること
- 4, 毎日ストレスなく使えるレベルのソフト・ハードの完成度があること
- 5, 故障しにくいこと

というのが、誰にもまず考えられる基本的な項目です。

Vilber Lourmat 社の Fusion は、基本に忠実に、上記の項目を満たすことを念頭に開発されたケミルミ撮影装置です。

メンブレンのバックまでとらえて抗体の反応性を確認できるレベルの感度、撮影直後に画像の S/N 比を計測して定量的使用の可否を判断する機能、定量の基本を押さえた上での使いやすいソフトウェア、データの精度と機械の耐久性を第一に考えたデザインについて、上記の 5 項目に触れながら、ご紹介をさせていただきたいと思います。

また、11月11日（火）には実機を使ってのデモを予定しております。

ケミルミをお使いいただいている研究者の方々のお時間をいただければ幸いです。



ケミルミイメージングシステム
FUSION SYSTEM

VILBER LOURMAT

総合分析実験センター 機器分析部門
森 (2404/PHS 2660)